

「外国語学習のめやす」課題発表：目標設定・活動・評価
作成者：山崎秀樹/北海道千歳高等学校教諭(英語) 千歳バーガープロジェクト
アクティブラーニングの要素を用い、地域の観光マーケティングについて考える

単元案の概要

テーマ
ご当地グルメ千歳バーガーを海外からの観光客にプロモーションしよう(3年生プロジェクト)
目標
学習レベル3:「きちんと伝わる」広告媒体をめざして、英語表記について考える
<ul style="list-style-type: none">○ 海外の観光客の方に理解してもらい、それがよい宣伝効果になるような英語表現を学ぶ。○ 食育、地産地消、地域の産業について英語の記事やニュース映像に触れ世界の取組を知る○ 情報の受け手の立場になって考え、どんな情報をどのような媒体で発信するかを学ぶ。○ 協働で議論や作業を行い、取材、英語表現の研究、英語版メニューを作成する。○ 地産地消と観光による地域経済の活性化の課題に関して実践を通して理解を深める。
コミュニケーション能力指標
【話題分野】食、交通と旅行、買い物、地域社会と世界(オリジナル指標)
3-a [critical thinking] 空港や観光地、店頭などで日常目にする英語について批判的に見る
3-b [knowledge] 取材やリサーチで地域の特産、観光、ビジネスや商品について理解を深める
3-c [expression] 取材を元にご当地グルメの何をどう海外観光客にPRするかを考える
3-d [IT skills+English] 英語版広告のデザイン、フレーズ、商品の特長の説明について考える
3-e [Teamwork] チーム内のメンバー、ALT、レストランオーナーとの連携
学習シナリオ
1) 千歳高等学校は新千歳空港から15分の位置にあり、近年海外、特に中国・台湾・香港・タイ・韓国・サハリンとの直行便が多く就航している。商店、空港や駅などで英語表記を見かけるが、正確さの面で課題が多いことに気づかせる(ALTや観光客の声、新聞報道)。
2) 地域の観光産業では、外国語ができる観光ガイドや店員を求める声大きい。そこで、本校の国際教養科・国際流通科の利点を生かし、地元のビジネス、観光業と連携し、本校生徒が他県的に学べる機会にしたい。そこで、昨年ご当地グルメとしてデビューした「千歳バーガー」を英語でプロモーションしてはどうか?(生徒へこれをやるかやらないかの確認)
3) コミュニケーションは話すだけではなく、文字やデザイン、映像や画像を媒体として行われるものであり、海外からの観光客へのPRがもっと正確で、地域について理解され、購買意欲につながるように作成するのが「広告」であり、身近で言えばメニューやPOP広告である。
4) この活動の前段階として「Fastfood(映画“supersize me”」「和食の世界遺産登録(BBC news/Japan Times)」「日本の学校給食の利点(Washington Post)」「Jaimie OliverのFood Revolution(BBC America)」「地産地消(日本経済新聞)」「観光の6次産業化(北海道新聞)」の記事を読み、関連映像を視聴し、世界のケース、日本のケースに関して理解を深める。
5) 千歳バーガーの特長について説明 生徒が知っているファストフードのハンバーガーとご当地グルメとしての千歳バーガーの違い

「外国語学習のめやす」課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：山崎秀樹/北海道千歳高等学校教諭(英語) 千歳バーガープロジェクト
アクティブラーニングの要素を用い、地域の観光マーケティングについて考える

について知る。生産者・地産地消・観光資源化・地域活性化という点。(千歳バーガーは生産量北海道一の卵を使用するという縛り以外は自由に創作でき、店ごとの特長が出やすい)

6) キックオフミーティング：外部(専門家・メディア)の協力を求める

千歳バーガー協議会の方に来校いただき、説明を受け、激励していただく。このプロジェクトが地域の高校生による地域活性化プロジェクトであることを、お話しいただく。報道機関に依頼し報道してもらうなど、本格プロジェクトであることを強調し、責任を持って取り組んでもらうこと、普段学んでいることが実際に生かせる経験をしてもらう。

7) ハンバーガーの基本用語(英語)の導入

広告作成の際に必要な語彙、おいしさや斬新さ、食材の特長などの語彙をブレインストーミングで共有。米国大手ハンバーガーチェーンのCMや広告を研究する。形容詞を使うにしても、よく知っている'big'だけでなく、'huge'を使ったり、「おいしい」を想起させる表現('juicy', 'mouth-watering')を学んだりするなど工夫してみる。

8) 各販売店舗・レストランなどへの取材

「千歳バーガー協議会」という店舗の加盟で作る協議会に支援を仰ぎ、各店舗で生徒が取材や試食などがしやすい環境を作っておく。生徒は、アポイントを取り、取材内容を伝え、バーガーの特長、地元の特産品・観光資源についてオーナーやシェフから話を伺う。

9) 英語版メニュー内のフレーズ作成・レイアウト・デザイン

英語版メニューの内容を精査し、キャッチフレーズ、写真、説明文、デザインを考える。この際、ALTに必ずチェックを入れてもらう。これを怠ると、和製英語や間違い英語になる。

10) PCスキル・ITスキル

パワーポイントを使用し広告作成をする。配色やレイアウトには便利。取材先で撮ってきた写真をより鮮やかに見せるために、画像加工ソフトを使用させ、使い方に慣れる。

11) 修正・最終確認：作成したメニューを店舗に持参(送付)し、助言を求める。修正点があれば反映させる。特に価格表記、著作権、所在地などの情報には注意させる。

12) 完成お披露目会

千歳バーガー協議会やメディアの方々をご招待し、お披露目会(メニュー発表プレゼンテーション)を行う。役所、観光協会、テレビ局、新聞社の方に見ていただく。

総括的評価

成績に関わる細かい評価(チェック項目)はRUBRICに譲るが、プロジェクトとしての評価は完成品、生徒が実践した内容、プレゼンテーションと店舗や外部の方のコメントで行う。生徒が行ったプロジェクトに関して、外部の方々の反応やメディアの報道など、地元の高中生によるプロジェクトが支持・評価され、店舗の方々にメニューを使っていたら成功とする。

「外国語学習のめやす」課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：山崎秀樹/北海道千歳高等学校教諭(英語) 千歳バーガープロジェクト

アクティブラーニングの要素を用い、地域の観光マーケティングについて考える

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習のための新聞記事・映像が支援を得て理解できる ハンバーガーや食品に関する語彙を理解する 広告で使用される英語表現 	<ul style="list-style-type: none"> 自国の食について 地域の産業や観光資源について 観光マーケティング的視点 世界の食文化と嗜好について 食育について 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道に来る国際観光客のニーズ（習慣や価値観） 世界の食育の事情について 世界の中の和食や給食について 世界の食と健康問題について ファストフードとスローフード運動
できる	<ul style="list-style-type: none"> 観光客にわかりやすい表記や説明が英語でできる 地元の名所や特産品について英語で発信できる 効果的な英語版メニューをデザインし、作成できる 	<ul style="list-style-type: none"> 和食や給食の利点について説明できる 食と健康に関するデータを読み取れる 地域の観光に関するデータが読み取れる 地元経済、観光、地産地消について取材 ご当地グルメの特長を取材できる 英語版メニューのプレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> 国際観光客に必要な情報を提供できる 地元のビジネスと観光客のニーズについて考える 食育、地産地消の視点から観光資源の開発を支援 ローカルからグローバルに発信すること 日本のスローフードを紹介できる PCを用いて英語版メニューを作成できる
つながる	<ul style="list-style-type: none"> 国際観光客 ALT や英語話者 地元のビジネスや空港関係者 	<ul style="list-style-type: none"> 千歳バーガー協議会 市役所観光課 地元観光協会 地域の観光関連業者 	<ul style="list-style-type: none"> 国際観光客 地元観光協会 地元観光業者
三連携	連携1：チーム内の協力・協働体制（構想・作成・役割分担） 連携2：取材先との連携（千歳バーガー協議会・観光協会・販売店舗） 連携3：英語科教員・ALT（英語の指導・校正・IT スキル）		

「外国語学習のめやす」課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：山崎秀樹/北海道千歳高等学校教諭(英語) 千歳バーガープロジェクト
アクティブラーニングの要素を用い、地域の観光マーケティングについて考える

目標の要素分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産としての和食について 食と健康についての課題 Jamie Oliver について ファストフードの弊害について 	<ul style="list-style-type: none"> 国内および海外の新聞や映像ニュースを視聴して日本の食、海外の食と健康に関する課題について理解を深め、語彙や表現を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使い、食と健康、日本の学校給食、和食の世界遺産の価値と広報、地産地消、地域の食材やビジネスの現状について、複数のメディアを通して事実、考え方、とらえられ方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の食の現状、食育、観光資源について、日本や地域のそれについて理解を深め、課題点について整理し、改善するための提案ができる。 国際観光客に向けて地元の特産品や観光の魅力などについて、英語で伝わるように、英語版の千歳バーガーのメニューを作成する。
<ul style="list-style-type: none"> 日本の給食制度や学校での配膳、栄養面、健康面についての特長を知る。 海外の食と健康について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の給食、海外の給食についてドキュメンタリー番組や海外メディア記事を読み、日本のそれのとらえられ方を知る。 		
<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産物について調べ、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消について理解を深め、地域の特産や食品について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光の現状について議論し、新聞などを活用し理解を深める。(来客数・外国語表記・多文化共生・異文化理解)地域の経済活性化、観光業に関してできることを探る。 	<ul style="list-style-type: none"> 作成した英語版メニューを、地元観光関係者や対象のレストラン、店舗の関係者に対し、特長などについてのプレゼンテーションを行う。
<ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港、国際観光客の現状についてデータなどをリサーチし、課題点などについて議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地、空港などの交通、観光客の動きについて理解を深め、異文化理解の観点から観光客を見る。 		
<ul style="list-style-type: none"> 千歳地域の観光や生活、コミュニティの特長は何かを議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に不足しているものは何か、課題は何かについて議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光業、ビジネスオーナーの方に取材を行い、地域の特産物や、観光業、マーケティングの現状や課題について知ると共に、レストランにご当地グルメである「千歳バーガー」の英語版メニューを提案、作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作成した英語版を地域のビジネスオーナーに協力を仰ぎ、ラミネート加工したメニューとして提供したり、印刷物として広く使用してもらう。
<ul style="list-style-type: none"> 街や観光地で見かける看板、観光案内パンフレットや案内の英語表記のサンプルを集める。 	<ul style="list-style-type: none"> 看板や観光案内などの英語表記について、より正しく効果的な表記について考える。 		
<ul style="list-style-type: none"> 大手チェーンなどのCM や広告を視聴し、英語版メニューで使用される表現について学ぶ。 バーガーの販売促進のためのキャッチフレーズを英語で考える。 取材対象について調べ、訪問取材のマナーについて知る 	<ul style="list-style-type: none"> グループで、市内近郊のレストランオーナーへの取材を通して、課題点や現状を知る。 PC を使用し、デザイン、表現を工夫した英語版メニューの作成 対象の店舗のバーガーのキャッチフレーズを英語で表現する。 		

「外国語学習のめやす」課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：山崎秀樹/北海道千歳高等学校教諭(英語) 千歳バーガープロジェクト

アクティブラーニングの要素を用い、地域の観光マーケティングについて考える

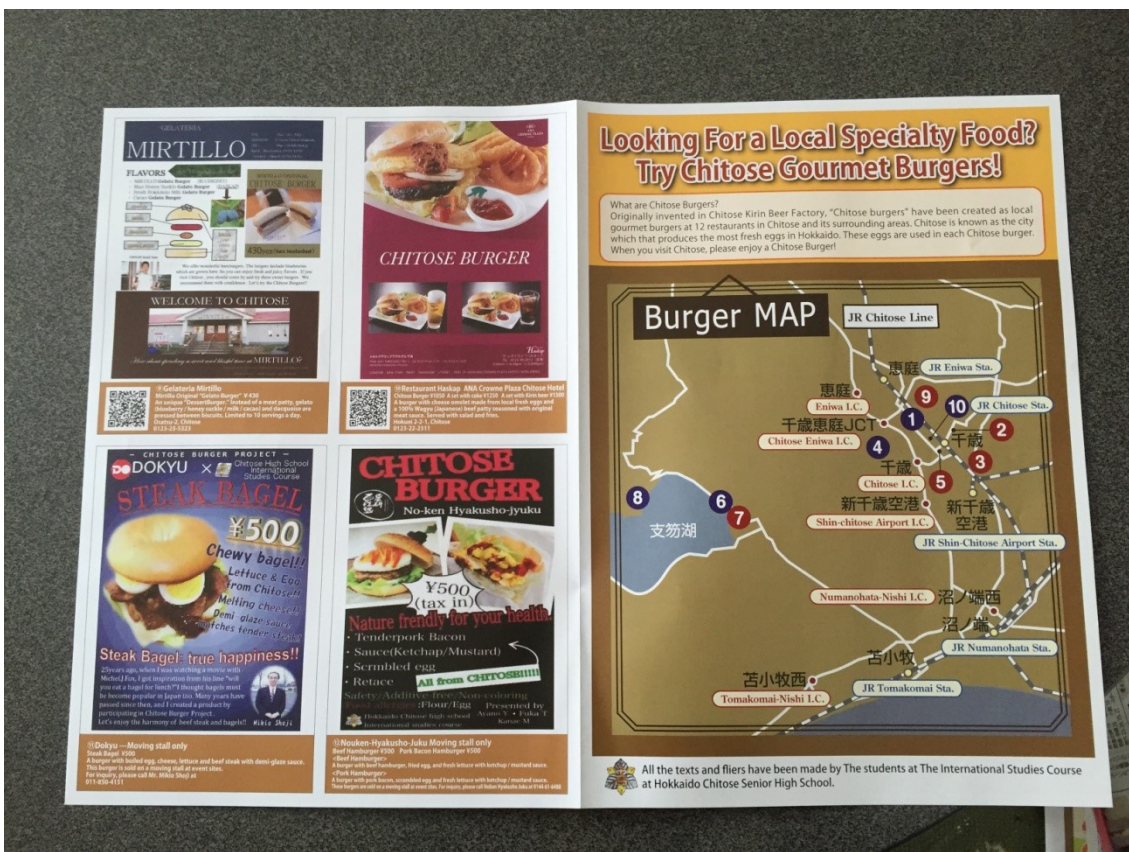
RUBRIC 英語版メニューに関するチェックポイントと評価表

	ポイント	チェック項目	不可・可・良・秀・優
視覚情報・レイアウト・表示	1 レイアウト	外国人のお客様の目に付くレイアウト（構成）になっているか テーブル上に置くか、ポスターとして使うかの配慮	1-3-5-7-10
	2 配置のバランスと順番	キャッチフレーズ・写真・千歳バーガー・特徴の配置の工夫 顧客が知りたい情報を重要度に応じて配置している	1-3-5-7-10
	3 配布形式	A4 サイズ【縦横ともに可】で両面を効果的に使用しているか	1-3-5-7-10
	4 視覚情報	吹出し、ワードアート、写真挿入、テキストボックス、イラストなどの効果的な使用、言葉以上に多くの情報を与えるイラスト等	1-3-5-7-10
	5 色使い	店舗のイメージに合う配色、目立つ色使いなどの工夫がある	1-3-5-7-10
	6 フォント・文字	フォント（字体）や文字の大きさが効果的か、読みやすいか	1-3-5-7-10
千歳バーガーの情報表示60	7 キャッチフレーズ	購入意欲をそそる英文キャッチフレーズが効果的である	1-3-5-7-10
	8 バーガーの写真	千歳バーガーの写真があり、一目でどのようなものかがわかる	1-3-5-7-10
	9 特徴の説明	その店舗の千歳バーガーの特徴がわかりやすく説明されている	1-3-5-7-10
	10 原材料表示	その千歳バーガーに何が使われているか（材料）の表示がある アレルギー情報表示・宗教上の配慮含む	1-3-5-7-10
	11 価格の表示	その千歳バーガー【セットなども含】の価格（税込）の表示	1-3-5-7-10
	12 オーナー・シェフから	調理者やオーナーなどの千歳バーガーのこだわりの説明がある または指示・依頼された情報がふくまれている	1-3-5-7-10
詳細情報・コラボ20	13 詳細・販売促進 SNS/WEB リンク	店の WEB・SNS や千歳バーガーの説明などへのリンクがあり、さらに詳しい情報が得られ、SNS などで顧客とのつながりを保つ工夫がある	1-3-5-7-10
	14 千歳高校国際教養科とのコラボ表示	「店舗名×International Studies Course at Chitose High School (国際教養科)」の表示があり、店舗と本校教養科のコラボ作品と言うことが明示されている	1-3-5-7-10
著作権10	15 ロゴ・トレードマークの使用	店舗名の正確さ、店舗のロゴやトレードマークなどが正しく効果的に使われているか	1-3-5
	16 著作権	使用する画像やイラスト、店舗や関係者の肖像などを含めて、著作権所有者に配慮されているか（無断使用がないか）	1-3-5
使用される英語50	17 正確さ 文法・語法	その状況や説明などに最もマッチした、誤解のない英語が使用されており、語法や文法のミスがない	1-3-5-7-10
	18 英文の理解しやすさ	英語のネイティブ話者でない人にとってもわかりやすい Plain English が使われており、情報として信頼できる簡潔さがある	1-3-5-7-10
	19 英語ネイティブスピーカーチェック	ネイティブスピーカーにチェックをもらい、不自然な英語や、誤解を招く英語はないことを確認したか	1-3-5-7-10
	20 キャッチフレーズ	英語で簡潔で、わかりやすく、ユーモアのあるフレーズがある	1-3-5-7-10
	21 バーガー情報について英語で精査	商品に関して、原材料名（アレルギー表示）、店舗情報、価格（税）、地域や店舗、料理のコンセプトを含め表現に問題はないか	1-3-5-7-10
合計		200点満点の合計÷2 = /100 で五段階評価します	/200

「外国語学習のめやす」課題発表：目標設定・活動・評価
 作成者：山崎秀樹/北海道千歳高等学校教諭(英語) 千歳バーガープロジェクト
 アクティブラーニングの要素を用い、地域の観光マーケティングについて考える

■生徒の作品の例

地元の企業と共同作成した英語版パンフレット 空港や観光案内所、レンタカー会社に配布していたんでいます。



All the texts and fliers have been made by the students at The International Studies Course at Hokkaido Chitose Senior High School.